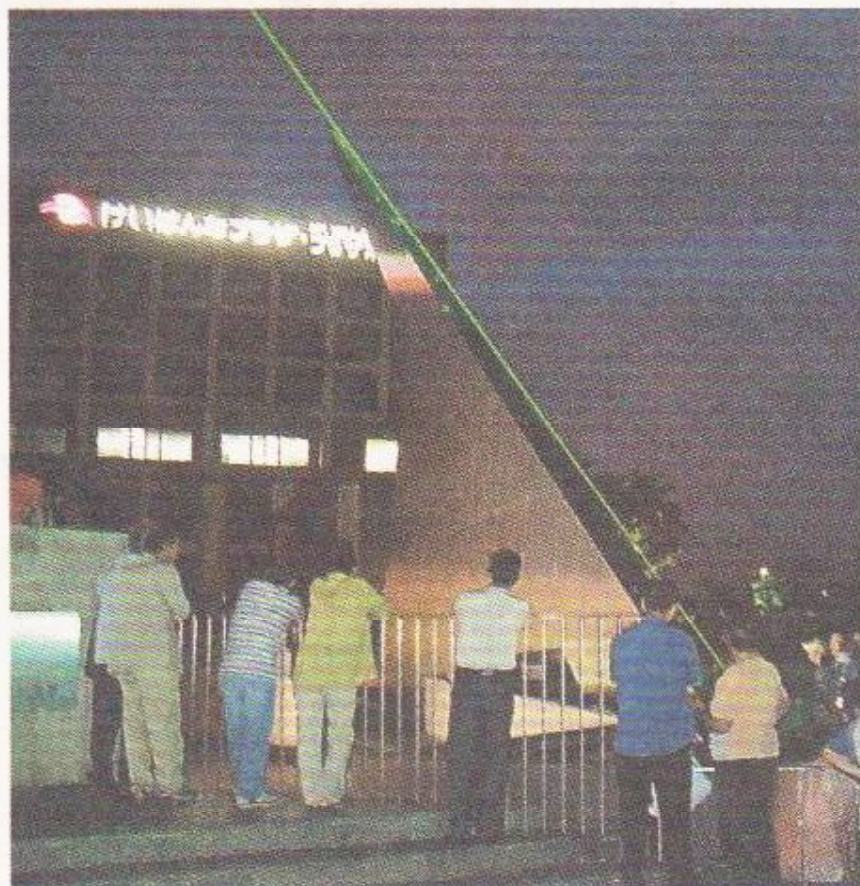


北極星指す光 復活へ



発射テストされた日時計のレーザー光線を見つめる人々（24日午後8時ごろ、けいはんなプラザ）

けいはんなプラザ 日時計から試験発射

関西学研都市の「けいはんなプラザ」（精華町光台）にある世界最大の日時計から発射されていたレーザー光線の復活を目指し、町内の中小企業20社でつくる「精華地区まちづくり協議会」が24日夜、長さ約35層の日時計の針に、半導体を使った発射装置を仮設し、初の発射テストを行った。約130人が見守る中、住民代表のカウ

ントダウンに合わせて照射。光線がまっすぐ北極星へ向けて走り出した瞬間、大きな拍手がわき上がった。人々は記念撮影をしたり、装置の故障で光線が途絶える前のにぎわいを懐かしんでいた。

協議会副会長の岩本泰一・日本伸縮管社長（49）は「予想以上の反響。多くの人たちに喜んでもらった。復活への大きな一歩になった」と手応えを話していた。

（吉岡宏）

京都新聞
2010年6月26日